

イベント（講演）名	平成18年度 第2回 「環境保全・共生科学技術研究会」シンポジウム ～福島県における循環型社会形成の現状と問題点～
主催	(財)郡山地域テクノポリス推進機構 日本大学工学部工学研究所
開催又は実施年月日	平成18年10月13日（金）
開催又は実施場所	日本大学工学部 70号館 1階 7014教室（郡山市）
参加人員	約70名

「福島県における循環型社会形成の現状と問題点」を統一テーマとし、省エネルギーやCO₂削減、資源循環などについて、各パネリストから事例発表等を行い、その後、長林教授をコーディネーターとし、今後の循環型社会形成の現状と問題点について、論議を深め、今後の展望を探った。



〔主催者挨拶〕

- ・日本大学工学部 工学研究所次長 藤原雅美 氏
本日は、各パネリストの事例発表等を行い、その後ディスカッション等を行うわけであるが、循環型社会形成の現状と問題点を認識し、今後の活動等に活かして欲しい。

〔コーディネーター〕

- ・日本大学工学部 土木工学科 教授 長林久夫 氏
省エネルギーや再利用及び資源循環が提唱され、産業界や経済界においても環境保全に向けた製品や商品など、積極的な展開が見られ、また、環境団体による様々な活動も展開されている。しかし、その活動の多くは独立型であり、循環型社会形成に至るためには、行政や経済界及び専門業種、そして市民や各団体の連携が必要である。



〔パネリスト〕

- ・福島県生活環境部循環型社会推進グループ 参事 荒川 実 氏
福島県循環型社会形成推進計画「うつくしま循環プラン」の計画策定の背景と目的、基本理念と施策の展開などについて説明した。

[パネリスト]

・株式会社ひまわり 代表取締役社長 佐藤 博 氏
地域との連携による廃食油の収集と地域通貨の流通、
バイオディーゼル燃料（BDF）精製による社有車の燃料
化、50kw 太陽光発電システム、雨水再利用など、自社
CO₂の71%削減を達成した経緯などを説明した。



[パネリスト]

・ 郡山農業青年会議所 監 査 安田潤一 氏
(有)ハッピーファーム 代表取締役)

郡山農業青年会議所の事業計画（キッズガーデン、
ブランド戦略事業、作付け勉強会、お花畑事業、郡山
あぐり市など）を中心に、農業と循環型社会との関連
及び循環型社会形成に向けた取り組みなどを説明した。